

令和4年度 第17回政策推進会議報告

日 時 1月6日 9時30分～10時30分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

1 年末年始の業務状況等について

危機管理安全局長から報告。

- ・年末にひったくりや強盗などの犯罪が発生する傾向があるため、生活安全課が毎年12月1日から大晦日まで土日も含めて、公用車による青色パトロールを実施している。昨年末の29日から31日の間についても、市内主要駅を中心に16時から18時の時間帯に市内一円のパトロールを延べ4名の職員で実施している。期間中、ひったくりや強盗といった犯罪は発生しておらず、駅前などの人通りは多かったが、例年と比較すると穏やかな年末であった。
- ・今年の抱負について、まずは来年度から始まる新たなマスタープランの重点項目として掲げているマナーの取組について、できるだけ早い段階で成果を上げられるよう、全力を尽くしたい。また昨年、戦後初めてゼロとなった暴力団事務所の排除に関しては、二度と市内に設置されないよう、条例改正等も視野に入れながら、より先進的な取組を行い、全国の自治体を牽引できたらと考えている。引き続き市民の安全安心のために取組を進めてまいりたい。

総合政策局長から報告。

- ・総合政策局では3所属が年末年始の業務に対応した。まず初めに新型コロナウイルス感染症関連の報道対応で、記者発表資料を報道機関へ提供するといった業務があり、広報課が年末の29日から31日の3日間対応した。2つ目は「はしもとみお木彫展」が1月4日から始まっている関係で、その準備のため12月29日と1月3日に文化振興課職員が出動した。3つ目は12月30日に尾浜町2丁目で発生した火災について、立花地域課の職員4名が被害に遭われた方に対して物資を提供するなど対応した。
- ・今年の抱負について、やはり今年は新たな総合計画のスタートの年ということで、この計画に沿った予算編成、政策調整を進めているところで、きっちりと新しい計画がスタートできるよう万全を期していきたい。個人的な部分で言うと、4月にこうして局長にお加えいただき、6月には新たな総合計画ができ、12月には稲村市長が退任され松本市長が就任されるなど、1年前とはかなり環境が変わってきているので、今年はその大きな変更に対してしっかりと再起動、リブートといった気持ちで取り組んでいきたい。

資産統括局長から報告。

- ・12月29日から1月3日まで本庁舎の受変電設備改修工事を実施しており、技術監理部の設備担当と庁舎管理課から1名ないし2名が出動し、現場監理にあたった。また、夜間休日窓口では年末年始の6日間で計130件の受付があった。主な内訳は、死亡届103件、婚姻届20件。昨年が計118件ということで、ほぼ例年と変わらない状況となっている。

- ・今年の抱負について。松本市長に変わられて最初の予算議会が2月3月に控えており、市議会への説明を丁寧に行いながら、3月下旬の議決にこぎつけたいと考えている。予算以外についても、2月議会にて資産統括局から市議会に提案する関連条例等が複数件あるので、これについてもやはり丁寧に説明しながら、ご理解を得ながら議決にこぎつけていきたい。

総務局長から報告。

- ・非課税世帯等に対する臨時給付金の業務について、委託契約が前年末で終了したので、端末のハードディスクから関連データを消去する作業を、年末29日に職員が3名出勤し、画面の確認などに対応した。また、健康支援推進担当が本庁から保健所に移動するという事で、システムの移動を行うため同じく29日に職員が対応した。
- ・コールセンターの年末年始の対応件数について、合計763件のコールがあった。前年度に比べると148件増え、増加したのはマイナンバーに対する問い合わせが前年度39件から105件、コロナに関する問い合わせが前年度82件から132件、その他で160件から219件、それぞれで問い合わせが増えている状況である。
- ・コンビニ交付の証明について。昨年度から年末年始にも実施しているが、住民票の写しが290件、印鑑登録の証明書が177件、住民票の記載事項証明が25件、税関係の証明が29件、また、ワクチンの接種証明書が国内用と海外用とを合わせて9件出している。昨年よりも住民票の写しや印鑑登録の証明書の件数が50件程度増えている。
- ・新型コロナウイルス感染症の罹患時や濃厚接触者となった際に職員が作成する報告書について、これは週間単位の把握だが、昨年12月25日から12月31日までは陽性者が26名、濃厚接触者が16名で、1月1日から1月4日までは陽性者が18名、濃厚接触者が14名と報告が来ている。引き続き集団感染に注意し、地道な感染対策を継続していただきたい。
- ・今年の抱負について。昨年USBの紛失事案が発生し、基本に立ち返ってしっかりと事務を進めていくことをまず課題としたい。また、欠員が各局に生じており、円滑な事務事業の遂行にもご迷惑をおかけしていると認識している。昨年採用区分を若干変更し、既卒者については前倒し採用を実施した。全庁の仕事がより円滑に、効率的に回るような仕組みを考えていきたい。

健康福祉局長から報告。

- ・健康福祉局では先ほど総合政策局長からも報告のあった尾浜町2丁目の火災に関する対応で、これは2世帯が焼き出されていずれも男性の単身高齢者世帯であったが、延焼世帯の男性については当面、地域の福祉会館に避難されるということで小災害見舞金を支給した。火元の世帯の男性については緊急的にショートステイで対応したが、その後、諸事情により病院へ向かうということで小災害見舞金を支給した。また、同じく12月30日に警察から連絡があり、高齢男性が公園等でぶらぶらしており、住居もないということなので行政で保護できないかと相談があったが、手持ちのお金が割とあったということと夜間であったということで対応が難しく、この日は警察で経過していただくこととなり、翌日、警察とも連携して市内の住宅型有料施設でとりあえず緊急的に入居させていただいた。また施設側と調整して今

後どうするか、本人の意向も確認して調整していく。

- ・今年の抱負について。通常業務をしっかりと行っていくことはもちろんだが、この3年間コロナ禍ということで、これまで地域で行われてきた活動がかなり抑制されてきた。徐々に戻りつつあるが、高齢者や障がい者は特にコロナの重症化リスクが高いという懸念もあり、活動に消極的な方もまだまだおられると思うので、今年はこうした方々も参加したくなるような新しい取組について、職員で意見を出し合って企画していきたい。そういった企画に市民の皆さんが参加してみたい、自分が主体として活動していきたいと思っていただけるような、そういった効果的な働きかけについても我々職員で意見を出し合って考えていきたい。まずは我々行政がコロナ禍以前、それ以上に活動していきたい。

保健担当局長から報告。

- ・休日夜間急病診療所では12月29日から1月3日までの6日間で合計1,876件の受診があった。前年比では792件増のプラス73%で、うち発熱患者は1,180件で全体の63%という状況であった。なお、コロナ流行前の令和元年度の受診総数が3,769件ということで、それと比較すると今年は合計受診件数が1,893件少ない状況で半数程度に留まっている。また、新型コロナウイルス感染症対応ということで、発熱等受診相談センター、医療ホットラインも6日間運営し、合計1,107件の相談を受け付け、衛生研究所では6日間で107件の検査を実施した。
- ・新型コロナの6日間の新規陽性患者数は市内医療機関から報告された総数が2,220件、うち発生届が提出されたものが561件で、1日当たりの新規陽性者数は12月29日が最も多く588件で、発生届の提出が一番多かったのは12月30日と1月1日で130件という状況。これに関する電話相談や疫学調査に対応するため、派遣職員も含めて延べ173名の職員が出勤しており、正規職員は1日あたり7人から17人で対応した。年が明けて感染者数が増えてきており、今日県が発表する分では尼崎市の総数が779人で、うち発生届が提出されたのが116人、明日発表分では尼崎市の総数が880人、うち発生届が提出されたのが245人ということで増えてきている。このように発生届の管理が増えてきており、聞き取り対応が回らない状態になってきているので、他局の皆様方、特に保健師の応援についてお願いさせていただきたいと思っているので、その際にはご協力をお願いしたい。
- ・最後に健康支援推進担当、特定健診やたばこ対策を所管している部署だがこの部署が本庁から保健所に移転しているのでご承知おきいただきたい。
- ・今年の抱負について。令和2年から新型コロナウイルスの対応に追われており、全庁的に職員の応援をいただいて何とか回ってきたという状況で、通常業務が若干おろそかになってしまっているのが実態である。今年もコロナが流行しているが、おそらく2類から5類へ見直しがされるのではと思っており、コロナにも状況に合わせて対応していくが、通常業務についても平時モードに徐々に切り替えながら、しっかり対応していきたいと思っている。

こども青少年局長から報告。

- ・昨年は子育て世帯の臨時特別給付金事務があったが、今年は穏やかなスタートを切れた。

- ・今年の抱負について。3月末までということで、重点課題をしっかりと進行管理して子ども子育て施策、事業を遅れがないように実施していきたい。退職の間際まで厳しいことを言っているが、優しい言い方で、職員が気持ちよく仕事していただけるような管理職になっていきたいと今更ながら思っている。

経済環境局長から報告。

- ・業務報告については3点あり、まずゴミの収集運搬処理の関係で12月30日まで業務課の職員がゴミを収集し、クリーンセンターでも30日まで家庭の持ち込みゴミの対応などで出勤したが、大きなトラブルや事故もなく終えている。2つ目が地方卸売市場の関係で、30日の止め市まで2名の職員が出勤し、1月5日の初市には朝5時半から市長と森山副市長にご参加いただいた。3点目が尼崎城で1日から開場しており、3日間で約700人の方に来ていただいております、昨日と一昨日を加えると1,000人を超えたということで非常に好調な出足を切ったと考えている。これは文化振興課の事業で実施している、はしもとみおさんの展示とのコラボで尼崎城の1階で実施している原画展に若い方が来られているのがプラス要因になっていると考えている。
- ・今年の抱負について。重点課題を含め各課が抱えている課題の解決に向けた取組を着実に進めていくことはもちろんだが、年度当初の部長会で部を超えた連携を強化していこうということのスローガンにし、今年はまだそれを一歩進めるために、お互いさま、おかげさまの経済環境局を目指してやっていこうということを1月4日に実施した局の部長会で申し上げた。経済環境局は4つの部、16の課で様々な業務をやっている中で、お互いさま、おかげさまの気持ちで助け合って連携していこうということを掲げた。最後に私自身の抱負だが、今局に283人の職員がおり、若い職員も多いと思っているが、残された期間にできるだけ私たちが経験してきたことを伝えたいということで、私が共感した言葉などを「今日の話」として、何かいいことは真似ていただければということで週2回ぐらいメールにて発信していく。1月3日には第1話として、不易流行とチャレンジチェンジ、という題名でメールを送らせていただいた。今年も1年また頑張っていきたい。

都市整備局長から報告。

- ・市民対応が5件あり、うち公園関係が2件、道路関係が1件、市営住宅が2件であった。公園関係の1件目は公園内の砂場の柵がぐらついて危ないと市民から警備室に連絡があり、緑化公園協会に対応していただいた。公園関係の2件目は、市民プールの警備アラームが鳴り、委託業者が警察と対応したところ、子どもがボールを取りに敷地内に入ったためアラームが鳴ったということで事件性はなかった。道路関係では、立花駅の北の方にあるコミュニティ道路の照明の分電盤に車がぶつかって破損してしまったため、それに付随する街路灯がつかなくなったということで緊急対応した。部品等の手配があり復旧までに2週間ほどかかるため、周辺住民に早急に連絡するとともに、社協の会長さんや地域課にも連絡を行い、周辺が2週間ほど暗くなるので安全に走行していただきたいという注意喚起を行った。最後に市営住宅に関する2件について、1件目は1月2日に市営住宅の緊急通報システムの不具合があ

り、常時館内にアラームが鳴るような状況となったため、職員が出動して音を小さくしたが、システム自体が老朽化していて復旧の材料がないということだったので、別の発報システムに切り替えるべきと年始早々に指示をしたので、遅くとも1月中には新たなシステムに切り替えたいと思っている。市営住宅関係の2件目はボヤ騒ぎで、パイプシャフト内で火災が発生したということだったが、放火の疑いがあるため警察と消防で捜査していただいている。

- ・今年抱負について。正月に久しぶりに母親と食事をしたのだが、離れて暮らす両親とは1年で大体6日ぐらいしか会わないと言われている。今年は仕事においては良質な住環境の形成など、駅前ブランディングということに取り組むことはもちろん頑張っていくが、親孝行もできればしたいと思ったところである。

消防局長から報告。

- ・消防局では年末年始6日間で延べ745人、1日平均125人の職員が勤務して災害対応を行った。6日間の災害発生状況としては、火災が3件、うち2件が前年で、1件は今年に入ってから、先ほど都市整備局長から報告があった市営住宅で1月3日に火災があった。所轄からは住宅管理の担当に対し防火管理体制も含め指導等があると思うので都市整備局長、ご対応をお願いしたい。なお火災による死者、負傷者等は発生していない。次に救助出動については11件、そのうち閉じ込め救助が6件。救急出動は657件、そのうちコロナ対応は51件。なお特異事例として、高齢者がお餅などを喉に詰めるという事案が1月2日に集中して4件発生した。
- ・今年抱負について。前年から申し上げている消防署等の配置計画をしっかりと策定した上で、消防力強化の実効性を高める取組をしていかなければならない。令和5年度からいよいよ定年延長制度が始まるが、災害対応にあたる職員は体力面でも健康面でもかなりシビアな状況になってくると思うが、加齢に伴う体力低下は否めない。今まで経験したことのない対応、業務に携わるようになって戸惑うことがないように、人材育成にしっかり取り組んでいかなければいけないと考えている。また、地域で活動いただいている消防団員の充足にも取り組みたいと考えている。

議会事務局長から報告。

- ・12月28日の晩、恒例となっている建設消防防災委員による年末火災特別警戒の激励巡査が行われた。消防局及び消防団におかれましてはお礼申し上げたい。
- ・コロナの感染拡大に加えインフルも拡大傾向にある中で、来月から開催される定例会については新年度予算を審議する重要な議会で、これを円滑に運営するため、感染対策には十分注意を払いながら万全を期して挑みたいと考えているので、手指消毒などみなさまにもご協力をお願いしたい。
- ・今年抱負について。議会運営に関しては先ほど申し上げたとおり2月議会を円滑に運営すること、また政務活動費に関する委員会についてもどういう風な形で進めていくかなど新たな制度構築に向けて頑張っていきたい。

能島教育次長から報告。

- ・ 年末年始には施設課の職員が一部出勤したこと、図書システムの更新が行われた関係で中央図書館の一部の職員が出勤した。1月から新しいシステムが導入されているが特に今のところ問題なく稼働している。
- ・ 今年の抱負について。教育次長としてはユニチカ記念館の取得やスポーツクラブWOODYに関する取組など、重要な案件が控えているので遺漏なく進めていきたい。理事としては、特に昨年度から継続している子どもの育ち支援システムと教育委員会の校務支援システムの統合業務が今年度中に完成するので、来年度の稼働に向けて準備していきたい。個人的には今大学院で博士課程に入っており、今年度中に論文を何本か出さないといけないという状況もあるので頑張っていきたい。

高橋教育次長から報告。

- ・ 学校園は12月24日から1月9日まで冬期休業日で、1月10日から始業予定である。
- ・ 今年の抱負について。学校教育全般としては、尼崎の教育の基本方針にある「教育は未来への先行投資である」という認識を全ての学校園と共有し、児童生徒一人一人の個性・能力を大切に、学校園、家庭、地域社会が一体となって教育活動を促進できるよう努めていきたい。特に学校教育に関する充実策としては、昨年からの継続になるが、学力水準を全国平均以上にしていきたいと思っている。そのためには昨年度から継続しているが、小中高全てにおいて、個人PC導入に伴う積極的なICT活用、今年度は特に学習支援ドリル等を配置しているので積極的に活用して、基礎学習の定着、習熟度に応じた取組を展開していきたいと思っている。不登校対策の充実、就学前教育の充実、官民幼保の連携、地域に開かれた学校づくりなど、様々に取り組み、皆様にも早く報告できるよう努めていきたい。教育委員会としても、今まで以上に学校現場に積極的に出向き、日頃から学校とのコミュニケーションを大切に、学校と連携していきたい。

教育長から報告。

- ・ 今年の抱負について。個人的には5回目の年男となり兎年は飛躍の年ということで、兎という漢字は運が開いている様子を連想していることから、冬の門が開いて飛び出ると連想されると言われており、今年は特に癸卯にあたるということで、これまでの努力が花開いて実り始めると言われている。今までやってきた取組が成果として出ていく年かと思っており、先ほど高橋教育次長から述べられた学力向上の取組、不登校支援、こういったことを具体的に、着実に成果として出す年かと思っているので皆様のご協力をお願いしたい。

公営企業管理者から報告。

- ・ 年末年始、結論から申し上げますと大きなトラブルはなかった。個々の出勤状況について、まず料金担当が1名、1月3日にシステムのホスト機器の起動の立ち会いで出勤した。次に水道維持担当、これは毎年のことだが12月29日から1月3日の6日間で各日2名、管路の維持修繕業務で延べ12名が出勤している。浄水センターの神崎浄水場では12月30日と

31日、1月3日の3日間で各日1人、延べ3名が水質検査のため出勤した。浄水センターの園田配水場では予定外だったが監視制御設備の不具合が発生し、委託業者からの連絡のもと、職員1名が1月1日に出勤した。最後にボートレース事業部だが、元々12月29日と30日は要勤務日に割り振られているので基本的に全員出勤だが、業務内容としては住之江のGIレースがあったのと、琵琶湖と戸田と福岡の場外専売日で、延べ67名が出勤した。

- ・今年の抱負について。1月4日に私から局の管理職に対して発信した内容についてそのポイントをご報告したい。公営企業局では一昨年、市民はもとより我々の組織や仲間を裏切るような決して許されない汚職事件があり2名の職員が逮捕され、懲戒免職となり皆様にも大変なご迷惑をおかけした。こうした事件だけでなく、出来事の重大さや内容に差はあるが、それぞれの職場で様々なリスクが多少なりともある。日々多忙な中で管理職が小さなリスクの芽を探し当てるのは難しいと思うが、やはり予防策は行き着くところ、職員とのコミュニケーションかなと私自身は思っている。そういったことを踏まえ、我々公営企業局の職務目標の1つは、リスクとどう立ち向かうかということだと思っており、個々のリスクを申し上げると、電気料金などの動力費が異常なまでに高騰していること、これがどこまで続くのか、あるいは建設資材の高騰がどこまで続くのか。またボートの好調な売り上げはいつまで続くのか。そうしたことを踏まえ、企業4会計の収支見通しがどのように変化していくのか。我々の職員の士気はどこまで維持向上できるのかなど、課題は山積している。というものの仕事はやりがいがあるべきで、職場は楽しくありたいと思う。今年も様々な課題があるがその解決のためには職員が心身ともに健康であることが絶対条件であると思うので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。というような内容でメッセージを送ったところである。

吹野副市長から報告。

- ・まずは年末年始に対応いただいた職員に感謝申し上げたい。そして今年やはり一番大きいのは12年ぶりに市長が変わり、当然市長が変われば仕事のやり方も変わるということ。加えてこの令和5年、昨年には情報セキュリティ問題が生じ、また内部統制の取組などもあり、仕事のやり方にいろいろと変化が生じるため、その辺りをうまく調整していきたい。今年は私4年目で任期が7月7日までということもあり、あと1年間スピード感を持って、いろいろ抱えている課題についても調整していきたいと思っているのでご協力お願いしたい。

森山副市長から報告。

- ・まず年末年始、市民生活には休みがないわけで、各局がそれぞれの持ち場でしっかりと頑張っていたことに対して感謝申し上げたい。今年の抱負だが、松本市長のもと第1回目の予算を編成していく中で、主要事業や、市長がマニフェストで掲げられたことをどう盛り込んでいくのが非常に重要になってくる。市長のマニフェストについては、今後自らの局の仕事として、業務として、事業としてどう取り組んでいくのかを、年度末までしっかりと考えていただきたいと思い、取り入れるものはできれば新しい予算編成にも取り入れていければと思っている。個人的な抱負としては、今回の年末年始は割と短かったなという印象で、NHKのドキュメンタリーなどを見ていると、やはりこれまでの日本の辿ってきた道である

とか、世界的に辿ってきた道のようなことについて、「映像の世紀バタフライエフェクト」や「東京ブラックホール」といった番組を見ながら、これからのありたいまちを考える上で、なるほどということを確認したようなお正月を過ごさせていただいた。もう一つ、職員が教えてくれたのだが1月1日の天声人語が面白いよということで少し読んでみると、非常に上手ないろは歌を詠まれる方が尼崎市におられるということで、中村さんという方で、毎日いろは歌を詠んでおられるという記事であった。コツのようなものはあるのかということで編者が聞くと、「て」とか「に」という字は助詞にもなるし、いろんなところに当てはまるので使いやすい、ところが「ろ」という字は非常に使い方が難しく個性派であるというようなことをおっしゃって、これを編者が要約しており、要はそれぞれの居場所を見出すということだと。要するに組織はいろんな多様性がある中で生まれていく、これからの私どものまちづくりもそうで、ダイバーシティ、外国籍の方も含めて、多様な個性を上手に溶け込ませながら、また折り合いをつけながら、まちづくりを進めていくことが大事だということ、感じさせていただいたところであるので、こういったことも心に留めながら、今年1年取り組んでいきたい。

市長から報告。

- ・各部局から年末年始の対応を伺ったが、本当に市民の皆さんの安全安心、それと市役所という大きな組織の維持管理のために多くの職員が働いてくれたことに対して、厚くお礼を申し上げたい。あわせて管理職の皆さんには、年末年始に出勤した方には代わりにどこかで休んでいただくなど、くれぐれも負担になりすぎないように、労務上の配慮をしていただきたい。今年の抱負について、私は昨年12月に着任し、皆さんに支えていただき、何とか代表質問を乗り切ることができたが、次の予算議会、それと個別の様々な課題が次々と出てくる。やはり教育委員会で3年間働いたといえ、尼崎市というこれだけ膨大な組織について、また事業について1つ1つ理解するのはだいぶ時間がかかると、つくづく感じているので、まずは4年間という限られた時間、しっかりとマニフェストに掲げてきたこと、総合計画との関係を整理しながら、優先順位をつけてやっていかなければいけない。ただ、決して焦らず、スタートダッシュするだけではなく、しっかりと各部局の状況把握を丁寧に行いつつ、仕事を進めていけたらと思っている。あと、これは私がこれまでも大事にしてきたことだが、腹落ちするという。それぞれの担当する政策、事業に愛情を持つということ。実は大きな組織になればなるほど、悪い言い方をすればしがらみと言うか、関係性があって、誰々に言われたからとか、こうせざるを得ないからとか、もうこれは期限が決まっているからとか、いろんな事情によって、それぞれの担当者や幹部、私も含めてだが、腹落ちしないまま物事が進んで、結果的に懸念していたとおりになってしまったとか、良くなかったということになるのは、市役所にとっても市民にとっても不幸なことだと思う。それぞれの立場でしっかりと納得して進める、これだったら市民のためになるとか、これだったら尼崎市にとっていいとか、これをすると本当に素晴らしいとか、それぞれの担当者が本音で、市民に向かって愛情を持って語れるような政策を1つ1つ作っていけるように進めていきたいと思っている。市長が12年ぶりに変わったということで仕事の仕方が変わると思うがそれは意図して変え

るというよりは、これまですんなり進んできたことがすんなり進まなくなったり、反対にすんなり進まなかったことがすんなり進んだり、それはどうしても人によって判断の付け所は変わるので、そこはご容赦いただきたいが、今、申し上げたように、納得して進められる政策を、私自身が腹落ちして判断をしていきたいと思っているので、しばらくお付き合いいただいて、それぞれの歴史的な経緯とか、事情なども教えていただきながら、大事な政策の判断をしていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

2 その他

・(経済環境局長) あま咲きコインについて。9月と10月にプレミアム付きのキャンペーンを実施し、最大2万円まで購入いただけることとしていたが、1月11日からその上限額にさらに1万円プラスして3万円まで購入できるようになった。これは市民であるかどうか関係なく購入できるので、2万円まで買った方はあと1万円、まだ買われてない方は最大3万円までご購入いただけるので市内経済の活性化に向けご協力お願ひしたい。

もう一点、尼崎城のキャンペーンについて。1月号の厚生会だよりも掲載しているが、キャンペーン中の2月末まで2割引で入場チケットが購入できるのでぜひこの機会に足を運んでいただきたい。また最後に1月9日開催の「20歳のセレモニー」でも尼崎信用金庫との共催によりご家族を無料招待しており、掲示板でも掲載しているのでPRにご協力いただきたい。

以 上